

令和元年10月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和元年10月分について、輸出は「自動車の部分品」などが増加したものの、「自動車」、「船舶類」などが減少したことから対前年同月比18.0%の減少となった。また、輸入は「果実」などが増加したものの、「自動車」、「粗鉱物」などが減少したことから、同10.0%の減少となった。

その結果、差引額は1,298億円（同21.2%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	1,875億円	▲18.0%	577億円	▲10.0%	1,298億円	▲21.2%
	4カ月連続の減少		3カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)自動車の部分品	4億円	+29.3%	輸入	増加品目	(1)果実	17億円	全増
		(2)精油・香料及び化粧品類	5億円	+14.9%			(2)鉄鋼	26億円	+7.9%
		(3)有機化合物	1億円	+204.2%			(3)建設用・鉱山用機械	2億円	+360.7%
	減少品目	(1)自動車	1,774億円	▲15.3%		減少品目	(1)自動車	491億円	▲12.7%
		(2)船舶類	28億円	▲69.4%			(2)粗鉱物	1億円	▲76.8%
		(3)鉄鋼	18億円	▲46.5%			(3)有機化合物	3億円	▲53.5%
	地域別動向	北米、西欧が減少、大洋州は増加				地域別動向	アフリカ、北米が減少、中南米は増加		

（参考）ドルレートは、107.77円（前年同月比4.5%、5.13円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。